

# 平成21年度公共事業再評価について

平成21年度公共事業再評価の対象となった12事業については、以下のとおり対応方針を決定しました。

## 1 公共事業評価監視委員会に意見を求めた事業(9事業)

公共事業評価監視委員会(委員長:福田志乃氏)に意見を求めた9事業に関して、同委員会から県の再評価案を「適切」とする意見の具申があり、その意見を尊重し、5事業を「継続」(うち2事業は「見直して継続」)、4事業を「計画変更」とする。【別紙1】  
 また委員会から提出された意見については、別紙により対応する。【別紙2】

経緯等 平成21年 7月 県公共事業再評価委員会(再評価案作成)  
 平成21年 8月～12月 公共事業評価監視委員会(審議4回、現地調査2回)  
 平成22年 1月25日 同委員会から意見具申  
 平成22年 2月 県公共事業再評価委員会(対応方針作成)

## 2 河川整備計画に含まれる事業(3事業)

今年度の再評価対象事業のうち「天竜川水系諏訪圏域河川整備計画」に含まれる3事業については、当該河川整備計画が平成22年3月9日に国から認可されたことから、これをもって再評価と見なし、同計画の内容に沿って2事業を「継続」、1事業を「一時休止」とする。  
 (長野県公共事業再評価実施要領 第3(6)イ)

経緯等 平成21年 7月 県公共事業再評価委員会(河川整備計画策定を報告)  
 平成21年 8月 公共事業評価監視委員会( " )  
 平成21年 7月～12月 学識経験者からの意見聴取  
 平成21年12月 公聴会による関係住民の意見聴取 } 河川整備計画  
 平成22年 1月 関係市町村長からの意見聴取 } の策定手続き  
 平成22年 2月10日 国土交通省へ認可申請 (河川法)  
 平成22年 3月9日 国土交通省認可

平成21年度公共事業再評価対象事業の対応方針

	対 応 方 針				計
	継 続	計 画 変 更	一 時 休 止	中 止	
上記1の事業	5(2)事業	4事業			9事業
上記2の事業	2 事業		1事業		3事業
計	7(2)事業	4事業	1事業		12事業

事業の名称  
及び内容は  
次頁に記載

対応方針の区分 継 続 ... 現計画で継続する事業  
 ( )内は、このうちコスト縮減を図って継続する事業(=見直して継続)  
 計画変更 ... 計画の一部を取りやめるなど、規模・内容を大幅に変更する事業  
 一時休止 ... 当面の間、休止とする事業  
 中 止 ... 中止する事業

## 平成21年度 公共事業再評価対象箇所一覧

部局名	事業名	路線名等	箇所名 (市町村名)	採択 年度	現行計画			県の対応方針	
					完成 予定 年度	総事業費 (百万円)	H22以降 残事業費 (百万円) 【進捗】	方針	削減額 (百万円)
(1) 長野県公共事業評価監視委員会に意見を求めた事業(9事業)									
環境	流域下水道	千曲川 流域下水道	下流処理区 (長野市・須坂市・ 小布施町・高山村)	S60	H30	78,000	20,988 【7】	計画変更	1,700
			上流処理区 (長野市・千曲市・ 坂城町)	H2	H30	95,000	19,172 【8】	計画変更	2,500
農政	県営かんがい排水		安曇野地区 (松本市・安曇野市)	H7	H22	7,650	630 【9】	(見直して) 継続	50
林務	県営林道開設	大島氏乗線	喬木村	H6	H22 (H28)	2,742	880 【6】	(見直して) 継続	7
建設	道路改築	(国)144号	上野バイパス (上田市)	H12	H28	9,300	5,600 【4】	継続	—
		(国)406号	村山橋 (長野市・須坂市)	H2	H22 (H24)	23,500	697 【9】	継続	—
	治水ダム建設 (再開発)	(一)松川	松川ダム (飯田市)	H2	H23 (H28)	16,200	8,500 【4】	継続	—
	街路	(都)仲町通線 外2線	永明 (茅野市)	H12	H23	8,000	2,543 【6】	計画変更	2,424
	県営住宅建替		君石団地 (塩尻市)	H12	H21 (H24)	3,132	1,513 【5】	計画変更	714
(2) 河川整備計画に含まれる事業(3事業)									
建設	地震・高潮対策河川	(一)武井田川	豊田 (諏訪市)	H2	H26	5,850	802 【8】	継続	—
		(一)鴨池川	豊田 (諏訪市)	H2	H26	3,400	1,189 【6】	一時休止	—
	広域河川	(一)十四瀬川	長地 (岡谷市・下諏訪町)	H11	H25	990	92 【9】	継続	—
再評価対象 12事業						253,764	62,606		7,395

(注) 上表の完成予定年度の( )内は、見直し後の完成予定年度を示す。

H22以降残事業費欄の下段【 】は、H21末事業進捗率を示す。

事業別箇所名	再評価理由	県の対応方針	
		方針	方針理由・見直し内容
<b>環境部 下水道事業</b>			
千曲川流域下水道 下流処理区 (長野市・須坂市 小布施町・高山村)	再々評価	計画変更	・快適な住民生活と公共用水域の水質保全のため、本事業は必要である。 ・計画処理人口、汚水処理原単位、計画汚水量を見直すことにより、水処理施設の1系列減を始め、関連する処理場施設の規模縮小したうえで、本事業を「継続」とする。
千曲川流域下水道 上流処理区 (長野市・千曲市 坂城町)	再々評価	計画変更	・快適な住民生活と公共用水域の水質保全のため、本事業は必要である。 ・計画処理人口、汚水処理原単位、計画汚水量を見直すことにより、水処理施設の2系列減を始め、関連する処理場施設の規模縮小したうえで、本事業を「継続」とする。
計 2箇所			
<b>農政部 県営かんがい排水事業</b>			
安曇野地区 (松本市・安曇野市)	再々評価	(見直して) 継続	・用水路としての機能とともに、地域の排水路としての役割も担っており、排水被害の解消に向けて本事業は必要であり、改修方法の見直しによりコスト縮減を図ったうえで、「見直して継続」とする。
<b>林務部 林道開設事業</b>			
大島氏乗線 (喬木村)	再々評価	(見直して) 継続	・本林道は、森林整備に加え、災害時の迂回路としての機能を期待されており、林道整備の必要性は高く、工法の見直し等によりコスト縮減に努め、早期完成を図ることとし、本事業は「見直して継続」とする。
<b>建設部 道路改築事業</b>			
一般国道144号 上野バイパス (上田市)	再評価	継続	・現道の交通量は多く、事故も多発しているため、安全な交通確保が必要である。また上信越自動車道上田菅平インターチェンジや長野新幹線上田駅へのアクセス道路としての利用度が高く、利用交通の円滑化や安全な交通環境の確保のため、本事業は必要であり、「継続」とする。
一般国道406号 村山橋 (長野市・須坂市)	再々評価	継続	・平成20年度の新橋供用により、円滑な自動車交通の確保、歩行者・自転車の安全性は向上した。平成21年度末時点の残事業は、付替道路及び旧橋撤去を残すのみであることを踏まえ、本事業は「継続」として、事業完了を図りたい。
計 2箇所			
<b>建設部 河川事業</b>			
(一)松川 松川ダム (飯田市)	再々評価	継続	・飯田市中心部の洪水氾濫を防ぐ松川ダムにおいて、貯水池への流入土砂の軽減、貯水池機能の回復、予備放流の解消のため、洪水バイパス施設の建設や貯水池掘削を実施する本事業は必要であり、「継続」とする。
<b>建設部 街路事業</b>			
仲町通り線外2線 永明 (茅野市)	再評価	計画変更	・本事業のうちJR交差点部は、茅野都市計画道路事業全体のなかでの緊急性を考慮して、当面取りやめることとし、将来、状況を踏まえ、事業手法を含めて対応を検討する。 ・上記に加え、未施工区間の歩道材料を見直すことによりコスト縮減を図り、本事業は「計画変更」とする。
<b>建設部 県営住宅建替事業</b>			
県営君石団地 (塩尻市)	再評価	計画変更	・残事業2棟のうち、市内の小規模な老朽県営住宅を統合するため、1棟の住宅建替は必要であり、残りの1棟については、隣接する市営住宅の移転建替事業として、市が実施することから、これを取りやめとする。 ・以上により、本事業は「計画変更」とする。

## 平成21年度公共事業評価監視委員会からの意見に対する対応方針

【事業名】 箇所名	県案に対する審議結果	県の対応方針
【県営かんがい排水事業】 安曇野地区 (松本市・安曇野市)	・嵩上げを行うA - 2区間については、今年度末に詳細設計が出来た時点で、「嵩上げの妥当性についてきちんと根拠を提示」し、安全性やコスト面からも再度検討すること。	・詳細設計の結果、補修工法で水路の粗度係数改善を図ることにより、現況断面での通水が可能となることが判明したため、嵩上げについては実施せずに今後の事業推進を図る。
【道路改築事業】 一般国道144号 上野バイパス (上田市)	・2期区間については、暫定2車線として先行整備し、4車線化については、交通量や産業交通の実態から、その必要性を再検討し判断すること。	・2期区間については、暫定2車線整備を実施し、4車線化については今後、交通量や交通の実態を踏まえ再検討し判断する。
	・3期区間については、原案では、里山を切るかトンネルを掘るなどの大工事が必要となり、コストがかかることなどの問題がある。そのため、2期区間の終点に当たる伊勢山交差点で一端、現道と接合させることから、現道拡幅や大土工を避けるルート変更を含め、地元協議のうえ計画内容の見直しが必要である。	・3期区間については、地元と協議し、計画内容の見直しを検討する。
【治水ダム建設事業】 (一)松川 松川ダム (飯田市)	・松川ダムが円滑に機能するには、予備放流の解消に伴う最低限の堆砂土の掘削が必要である。しかしながら、それ以外の貯水池機能の回復に伴う堆砂土の掘削作業については、利水の点から、一気に進めるほどの緊急性が高いとは言えず、現場で堆積する土砂の状況を把握しながら、適宜判断することのほうが妥当と考えられる。 ・したがって、堆砂土の掘削の進め方については、「ダム貯水池の運用状況と堆積土の状況から緊急性を判断したうえで、コスト縮減も含めて柔軟に事業を実施」することを提案する。	・堆砂土の掘削については、予備放流の解消に伴い新たに必要となる容量の確保と、貯水池の運用状況を考慮して掘削土量を算出し、工程を含めた検討を行う。 ・コスト縮減を図るため、貯水池掘削の工法及び、残土の処理場の検討を行う。

平成21年度公共事業評価監視委員会からの意見に対する対応方針

【事業名】 箇所名	事業推進上の多角的な意見	県の対応方針
【流域下水道事業】 千曲川流域下水道 下流処理区 (長野市・須坂市 小布施町・高山村)	・硫化水素等の発生を抑制管理し、施設の腐食や老朽化の進行を遅らせる新しい技術的な工夫がなされており、コストが割高になったとしても、維持管理の点からは重要な方策が採られていると評価できる。今後は、進歩していく技術を、特に維持管理の面からどのように効果的に事業に生かすかも必要な視点である。	・施設の設置・改築更新に当たっては、維持管理を十分考慮し、新しい技術の積極的活用、ライフサイクルコストの最小化を図る。
【流域下水道事業】 千曲川流域下水道 上流処理区 (長野市・千曲市 坂城町)	・消化タンクは段階を追って整備されていくことになっているが、環境面からも必要な設備であり、できるだけ早期の整備が望まれる。	・本年度から消化タンク建設工事に着手しており、できる限り早期の完成を目指す。
【県営かんがい排水事業】 安曇野地区 (松本市・安曇野市)	特段意見なし	
【県営林道開設事業】 大島氏乗線 (喬木村)	・大島、氏乗の2集落は高齢化が進行しており、当該事業の整備の遅延は生産活動の存続にも悪影響を及ぼす。こうした地域で森林の総合的な利用便益を図るためには、生産基盤を支える真のインフラとして事業の早期実現を図ることが望まれる。	・工法の見直し等によりコスト縮減に努め、早期に完成を図る。
【道路改築事業】 一般国道144号 上野バイパス (上田市)	・当該道路は、常に交通量が多い道路ではない。2期、3期区間の暫定2車線整備を進めながら、4車線化を再検討する時点で再評価委員会や評価監視委員会でも再審議したほうが良い。 ・但し、2期区間での用地買収は、コスト面などから、4車線化を前提に行うことが望ましい。	・2期区間から暫定2車線で整備を進め、交通量等の状況により4車線化を再検討する。 ・2期区間の用地買収は、4車線計画での用地を確保する。
【道路改築事業】 一般国道406号 村山橋 (長野市・須坂市)	・地域の貴重な歴史・文化保存の立場から、地域と共に、村山橋撤去後の最善の対応策を望む。	・学識経験者、地元関係者等を交え保存のあり方について今後、検討を進める。
【治水ダム建設事業】 (一)松川 松川ダム (飯田市)	特段意見なし	
【街路事業】 仲町通り線外2線 永明 (茅野市)	・JRとの立体交差として、他に3箇所確保しているとの説明はあったが、当初の計画に比べて歩行者の安全性に問題を残すことになる。周辺に小・中学校が立地しているため、学校など地元への説明と合意も丁寧に行うことが望まれる。	・JR交差点の工事を当面取りやめることについて、茅野市や教育委員会、永明小・中学校に対して十分説明を行い、ご理解をいただけるよう努める。
【県営住宅建替事業】 県営君石団地 (塩尻市)	・県が県営住宅整備において県産材の活用を重要視し、そのための施策がとられてきたことは評価。しかし、公営住宅で木材利用するだけでは、林産業の市場の拡大につながる現状については、広く日本社会で考えていく課題。	・県では、県営住宅整備において、内装材や木造集会所の建設等に県産木材を活用するほか、県産木材を使用した良質な木造住宅を新築又はリフォームする者に、県が建設費等の一部を助成するなどを行っており、引き続き木材需要の拡大に取り組んでいく。
	・単に住宅を新しく建替えたという話ではなく、市営バスの本数を増やすなど、高齢者の足となる生活交通として最低限の利便性を確保なども一体的に考えていくことが重要。	・自動車等の交通手段を持たない高齢者世帯の利便性の確保について、市営バスの増便や生活支援サービス等の福祉施策を含め、市と連携して取り組んでいく。

平成21年度公共事業評価監視委員会からの意見に対する対応方針

【事業名】 箇所名	事業評価上の意見	県の対応方針
【流域下水道事業】 千曲川流域下水道 下流処理区 (長野市・須坂市 小布施町・高山村)	・今後、老朽化による維持管理コストも増大してくると考えられる。施設改築や更新に関しては、総合的に「どのように新規に造られ、どのように維持管理がなされているか」、「その結果、トータルにどのような効果を上げているか」を一体的に把握し評価することが重要。	・今後の施設の改築更新については、限られた財源の中で、維持管理やライフサイクルコスト最小化の観点を踏まえ、総合的かつ計画的な改築更新を推進する。
【流域下水道事業】 千曲川流域下水道 上流処理区 (長野市・千曲市 坂城町)		
【県営かんがい排水事業】 安曇野地区 (松本市・安曇野市)	・当該地区は、住民の手で捨て堰と環境を守り育てようという機運が高く、「捨て堰応援隊」が日常的な活動をしていることは、高く評価すべき。 今後、公共事業を評価するうえで、「住民の関わり」は重要な視点。当該事業は、造る時だけに陳情や意見をする住民から、造られた後には維持管理や環境保全や学習の場づくりに参加する住民へと変わっていく必要性を提示した好事例。	・地域住民の活動は、水路の持つ多種多様な機能を十分に発揮させるために重要であることから、事業完了後も活動に必要な支援、助言等を県として可能な範囲で行っていく。
【県営林道開設事業】 大島氏乗線 (喬木村)	特段意見なし	
【道路改築事業】 一般国道144号 上野バイパス (上田市)	特段意見なし	
【道路改築事業】 一般国道406号 村山橋 (長野市・須坂市)	特段意見なし	
【治水ダム建設事業】 (一)松川 松川ダム (飯田市)	・環境は時系列的にモニタリングすることが大切。事業前、事業中、さらには平成27年度の稼働後の調査結果の公表も重要。 ・多角的な環境調査の蓄積を有効に活用するため、川の構造(外淵、中洲など)の堆積物が何か、どのような形状に土砂が堆積されていったかなどを分析しておく、生物層や生態系にも有益なデータとなる。	・平成18年度より運用を開始している美和ダム洪水バイパス(直轄)のモニタリング調査を参考に、下流河道に流下する土砂量、粒度分布や土砂の流下による環境の変化をモニタリングにより把握し、地域住民や関係機関との情報の共有を図る。
【街路事業】 仲町通り線外2線 永明 (茅野市)	・街路事業には、道路幅幅により、伝統的な町並みや雰囲気等が失われる等のマイナス面もあり、決して費用対効果だけでは評価しきれない側面がある。 ・市の区画整理と一体的に進めているが、当該事業について、まちづくりの面からのプラス・マイナスは今後も見定めていくべき。	・本事業箇所は、茅野駅前の玄関口に当たるため、平成18年11月に「茅野駅前地区まち並みづくり協定」を締結。街路整備に伴う移転家屋は、建築物や敷地の整備に一定のルールのもとに再構築するという手法をとっており、今後も引き続き地域住民や市と協力しながら、まちづくりに取り組んでいく。
【県営住宅建替事業】 県営君石団地 (塩尻市)	特段意見なし	